

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になりません。

平成24年4月13日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

1. GIグレード 0件

2. GIIグレード 1件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 原子炉安全上の影響度合い |
|-----|-----|---|--------------|
| 1 | 6号機 | 制御棒駆動系水圧制御ユニットにおいてスクラム弁の点検時、弁座部部品に微小な変形等(弁座押さえに部分的な変形、弁座シートの微少な削れ)を確認した。当該部品を交換。なお、分解前の漏えい試験では異常は見られず、弁としての機能は満足していた。 | GIII以下 |

3. GIIIグレード 12件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 備考 |
|-----|-----|--|----|
| 1 | 1号機 | 補機冷却海水系のうちタービン補機冷却系熱交換器(C)海水側ブロー弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。 | |
| 2 | 2号機 | 高圧炉心スプレィディーゼル冷却海水系ポンプ吐出圧力計の点検時、計器元弁にシートパスを確認した。当該弁を修理。 | |
| 3 | 5号機 | ろ過水移送ポンプ(C)入口圧力計検出元弁の点検時、シートパスを確認した。当該弁を修理。 | |
| 4 | 6号機 | 制御棒取替工事中に、燃料交換機のうち原子炉内蔵型再循環ポンプ取扱装置の電源ケーブルが外れたことを確認した。当該電源ケーブルを点検・修理。 | |
| 5 | 6号機 | 低圧タービン上半ノズルダイヤフラム(静翼・仕切り板)の点検時、浸透探傷検査において指示模様を確認した。当該ダイヤフラムを修理。 | |
| 6 | 6号機 | 復水脱塩装置導電率計検出元弁の点検時、シートパスを確認した。当該弁を修理。 | |
| 7 | 6号機 | タービン補機冷却海水系ストレーナ(C)ブロー弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。 | |
| 8 | 6号機 | 原子炉補機冷却系のうちサプレッションプール浄化系ポンプ軸受冷却器冷却水入口弁の点検時、僅かなシートパスを確認した。当該弁を修理。 | |
| 9 | 6号機 | 起動領域モニタ(G)の指示値が一時上昇したことを確認した。当該モニタを点検・修理。 | |
| 10 | 6号機 | 主蒸気逃がし安全弁の漏えい検査で、漏えい量の規定量超えを確認した。当該弁を点検・修理。 | |
| 11 | 7号機 | 過渡現象記録装置表示器において映像の乱れを確認した。当該表示器を点検・修理。 | |
| 12 | その他 | 水素注入系のうち、水封器水張りラインにあるストレーナ2つの腐食他を確認した。当該ストレーナを点検・修理。 | |